

北九州市立松ヶ江中学校 学校通信

今は未来のためにある

令和8年度に高める力のキーワード

「あいさつ」、「黙働」、「敬語」、「アンテナ力」

No.14 令和8年6月16日 発行者;校長 小倉 大二

【学校教育目標】

校訓「誠実・勤勉・礼儀」に則り、
思いやりの心をもち、
新たな価値創造に挑戦する中で、
母校への誇りをはぐくむ生徒の育成

「松ヶ江中学校区学校運営協議会」より

6月11日(木)の10時から、松ヶ江中学校区学校運営協議会が行われました。

今、国が示す「コミュニティ スクール事業」として、「チーム学校」の名の下、学校独自の考え方ではなく、地域の方の意見も取り入れながら学校と地域が一体となって子どもたちのよりよい成長を育む取組が全国的に行われています。松ヶ江中学校区学校運営協議会とは、その事業の一環として本中学校区3校(松ヶ江中学校・松ヶ江北小学校・松ヶ江南小学校)の校長が、各PTA会長や各自治連合会長をはじめとする地域の代表の方々に、学校経営方針について説明するとともに、ご意見をいただく会を指します。

第1回目の協議会は、松ヶ江中学校が会場校でした。中学校だけでなく、松ヶ江北小、松ヶ江南小の両校長にもご来校いただき、各校の学校経営方針についての説明を行いました。なお、第2回目、3回目については松ヶ江南小学校、松ヶ江北小学校を会場に行う予定です。

当日は、最初に10数名の委員の方々と一緒に全クラスの授業の様子を参観しました。そこでは、タブレット端末や3年前にPTAから寄贈いただいた固定プロジェクターや固定TVを活用した授業が行われていました。授業の様子を見て、多くの委員から「とても落ち着いている」という感想をいただきました。とても誉(ほまれ)なことです。

松ヶ江中学校は、数年前から教育DXの充実を掲げ、授業改善を行ってきたため、北九州市の先生方の間でも「松ヶ江中学校といえばICTが進んでいる学校」というイメージが付いています。本校では、日常的に、今求められている「主体的・対話的で深い学び」の授業を互いに見合ったり、ICT活用の研修を行ったりして、教員の資質・力量向上に努めています。下の写真はその一例の1年生理科の授業の様子です。タブレット端末を活用し、グループで役割分担しながら実験の予想や計画を立てたり、クラウド上の他のグループの途中経過を参考にしたりしながら、生徒自身で学習を進めている姿です。教師が出す「問い」に「?(問題意識)」をもち、友達と協力しながら主体的・対話的に探究活動に熱中していました。



授業以外の件で話題になったのは、「部活動の地域展開」です。現在、本校では、バスケットボール部、ソフトテニス部、剣道部が「地域クラブ」としても運営を行っているところです。教員には人事異動があるため、「地域クラブ」は教員ではなく保護者や地域の方々が主体となって運営する組織です。そのため、「地域クラブ」を立ち上げるには、日常的に活動を支えるだけの余力や時間のある方の協力が必要です。もし、「地域クラブ」の運営に興味がある方がいらっしゃれば、学校までご一報いただければと思います。

また本年度、小学校・中学校ともに、力を入れていることに「読書」があります。小学校も中学校も、図書室の本を廊下等、日ごろから子どもの手に取りやすい場所に置くことや、電子図書館の活用促進を図るなどし、読書環境を整えていることを協議会で紹介しました。ぜひ、9年間をかけて松ヶ江中学校区の子どもたちが普段から本に親しむようになればよいと願っています。

さらに、全市の小中学校でAI学習アプリ「Qubena(キュービナ)」を活用することが決まりました。市の施策として、AI学習アプリを活用した授業(自習)や家庭学習が促進されていくことになっています。今後、小中学校ともに、「Qubena」を活用した授業や家庭学習が行われるようになります。

部活動激励会

6月12日（金）の6校時に「部活動激励会」が行われました。これは、6月13日のバドミントンの門司区大会を皮切りに3年生の引退をかけた中学校体育連盟の夏季大会が開催されるに際し、全校生徒で各部活動の勝利や健闘を祈願する激励会です。

文化部を含めたすべての部活動の部長が自分たちの決意を述べるとともに、今までの各部の試合や練習等の日々の活動場面の写真が音楽とともにプレゼンテーションで紹介されました。

3年生にとって、今までの練習の成果を発揮でき、悔いの残らない大会になればよいと思っています。



自動採点システムでのテスト返却

北九州市の全中学校に、テストをAIが自動的に採点するシステムが導入されています。右写真のように、解答用紙をデータに取り込み、AIが判断し、○×を付けてくれます。（※ AIの誤採点がないように、最後に必ず教師の目で確認します。）

このアプリを使用することにより、今まで採点に要していた時間や成績の集計にかかっていた時間がかなり短縮され、教員の業務改善に役立っています。

なお、このシステムを使用した場合は、生徒が記入したテスト用紙に直接○×をつけるわけではないため、別の紙【業者テストと同じような採点後のデータを印刷した紙】でのテスト返却となります。（※生徒が記入した用紙に教師が直に○×をつけ、返却する教科もあります。）



入試情報コーナー

私立高校入試の日程が決定

先日、福岡県私学協会から本年度の私立高校入試の日程が発表されました。日程は以下のとおりです。福岡県私学協会のホームページを確認すると、昨年度まで北九州市の私立学校は「推薦入試」「一般入試」の2つの形式のみ行っていた受験ですが、本年度から新たに「専願入試（「学校通信No.7」参照）」を取り入れる学校もあることが分かりました。どの学校が「専願入試」を採用するか、また、その受験資格の基準は何かなどの詳細については、各学校から10月頃までに公表されると思います。

日 程	内容（入試形式等）	主な該当校
1月26日（火）	推薦入試・専願入試	全校
1月29日（金）	推薦入試・専願入試合格発表	全校
2月 4日（木）	一般入試	敬愛、美萩野女子、西南女学院、真颯館、自由ヶ丘、
2月 5日（金）	一般入試	常磐、東筑紫学園、折尾愛真、高稜、希望が丘
2月 8日（月）	一般入試	豊国学園、慶成、九州国際大学付属、明治学園 星琳、仰星学園
2月15日（月）	一般入試合格発表	全校

※ 福岡県私学協会のホームページで、北九州市以外の私立高校の入試日程も確認できます。